

# 行事報告書(研修)

報告者: 藤原泰子

行事名	甲山森林公園の自然観察会				
日時	2023年4月20日(木) 10:00~14:10 天候: 曇り時々晴れ				
場所	甲山森林公園				
テーマ	樹々の息(芽)吹きを感じよう				
リーダー	児玉勝久さん 2班に分かれて観察				
参加者	23名				
内容(概要)	<p>観察コース: 集合広場→中央入口→太師道→西入口→広場(大)→ハイキングロード→西宮自然の家→甲山湿原観察地→仁川→なかよし池(昼食)→北門→展望台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10:00 児玉講師から今年は桜も早くから咲き、色々な花が例年より2週間も早く咲くという異常な気候である。落葉樹は2月から樹が動いている=揚水(養分と水を吸い揚げる)などのお話があり、10:10~観察に入る。出発してすぐヒメコウゾの花が満開で2種類の花があり、どちらが雌花か雄花かの説明を受け、進むとヒラドツツジも満開で(これも例年より早い)綺麗。中央入口を出て新緑の樹々を観ながら太師道を進む。メタセコイヤ3本の大木があり、上は切られていた。満開のノダフジも見頃で素晴らしい。駐車場でタマミズキを観て、西入口から広場へ。ヒラドツツジの蕾は上を向いているが、花は横向きになっているのは蜜標を虫に見えやすくするための生き様との説明を受け、展葉が進んだゴズイ、ネジキを観ながらハイキングロードへ出た。</li> <li>道路に出たら樹冠を真っ白い花で覆った樹が目に入った。よく見るとクロバイで、普通はこの期には見られない花なので皆写真を撮っていた。ツルグミの果実がなっていた。シロダモの葉をライターであぶると葉の裏の白色が緑色に変化、白いの毛ではなく、ロウであることがわかった。ニシキギの可愛い黄色の花、ヤマツツジの赤い花に癒されながらモチツツジの蕾は今だけベタベタなので(1年中ではない)触って確かめながら歩いているとクマバチがドウダンツツジの蜜を吸っていた。</li> <li>11:30に西宮自然の家に到着。少し休憩して甲山湿原を経てなかよし池に向かう。カマツカの蕾が見られ、葉は展葉後で縁が赤かった。ソゴも蕾が見られ、スノキは可愛い花が咲いていた。タカノツメは3出葉だが、単葉も見られた。ミツバアケビの濃い紫色の雄花と雌花も咲いていて可愛い。マルバアオダモ、コバノガマツミ、ミヤマガマズミなどの白い花が満開で、ついこの間まで黄色の花が多かったのに、この時期は白い花が多い。モリアオガエルの池を見て(6月頃に卵塊が見られる)進む。ソゴの葉をライターであぶると熱した中心部は緑のままであるが周辺が黒い環になった。これは死環といい、モチノキ科に顕著に見られ、同定に役立つ。</li> <li>12:15 なかよし池で昼食。成虫で越冬したルリタテハがマルバヤナギの葉にとまっていた。</li> <li>13:00~ タムシバはもう花はもうすっかり終わっていた。サルトリイバラの花があっちこちで咲いていたが、ここでツルの説明を受ける。葉柄から1対の長い巻きひげが出ていてこれで他の物に絡みついていくが、この巻きひげは托葉が変化したものである。なので1対ある。大小の葉があるイボタノキ、赤い花のヤブウツギをみて北門へ到着。展望台へ向かう道でウバメガシにはびっしりと雄花が咲いていた。</li> <li>14:10 展望台で解散。</li> </ul>				
					
					
	ヒメコウゾ	ノダフジ	クロバイ	マルバアオダモ	ウバメガシ
	<p>今年度初めての甲山森林公園での観察、今でしか見られない花々が見られ、色々な説明もして頂き、とても楽しい観察会でした。</p>				